

# おんじゆく

1

昭和63年 1月

第291号

千葉県御宿町役場



新年の抱負を短冊に記す(元旦 歩こう会)

# 年頭所感

御宿町長 滝口栄蔵

明けましておめでとございます。町民の皆さまには、ご家族おそろいで、希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃は町政に対する温かいご理解と絶大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。お陰をもちまして、昨年も着実に発展への基盤を固めてまいりましたが、私が町政を担当して初めての新年を迎え、御宿町の一段の躍進を期して、清新の気がみなぎるのを覚えます。

しかし、国の内外を問わず、私たちをとりまく社会、経済情

勢は、激しく変動しており、特に地方財政は一段と厳しい状況になることが予想されます。

こうしたなかで、明るい活力あるまちづくりを進めていくには、議会をはじめ町民の皆さまとの対話を基調に、常に町民の意志を反映した諸施策の推進を図ることこそ、最善の道であると思えます。

昨年スタートしました「まちづくり町民大学」「観光おんじゅくアクティブ100」など、町民の皆さまが、積極的に行政に参画できる制度、組織づくりを今後も続けていく考えです。

## ドゥン・ドゥン

### 御宿の

### 基盤

本年は、千葉県においても東京湾横断道路、幕張メッセなど

二十一世紀を展望した大規模プロジェクトが始動する年であります。

わが町も時代に遅れることなく、町の特性と立地条件をいかした「マリン・リゾート御宿」を目標にした基盤づくりを推進したいと考えております。

まず第一点として、きれいな町づくりを進めるため、生活環境の整備に重点をおき、ゴミ処理や生活排水処理対策に積極的

に取り組みます。また、夏の交通渋滞の解消、機能的な生活道路として、六軒町浦仲地先に海岸道路を新設するとともに、地曳橋の拡幅も計画、実施する考えです。

さらに、昨年復活した花火大会や従来のイベントに加え、住民、観光客がごぞつて参加できる多彩なイベントにより、躍動する観光地としてのイメージアップを図るとともに、御宿町のシンボルとなった「月の沙漠」をいかした文化的施設など、時代の要請にこたえた施設づくりも計画化していきます。

一方、長い間の懸案事項であった「夷隅開発B地区」は、本年、第一期分譲を開始することになっており、地域振興に大きく寄与するものと期待されます。本年は特に、若和田地先の「御宿・大原地区観光開発事業」と

農村地域の特性をいかした新しい観光地域づくりを推進すべく関係機関に働きかけていきます。

## 早期解決に努力

### 水道・庁舎建設問題

また、公正な行政を進めるため、重要課題として取り組んでいる布施・高山田の水道給水計画は、各種調査を実施し、早期に事業認可が受けられるよう努力していきます。

庁舎建設につきましては、昨年、新たに庁舎建設委員会を組織し、将来のまちづくりを展望した話し合いの中から、その方向をさぐっているところであり、具体案がまとまり次第、町民の皆さまにお知らせしたいと考えております。

## 補助事業の活用と

### 時代に合った

### 行政運営

町の基幹産業である農、漁業の振興につぎましては、生産性を高めるため、国や県の補助事業を導入し、積極的に基盤整備

を進めていきます。特に、漁港施設につきましては、「新沿岸漁業構造改善事業」による御宿・岩和田両漁港の施設整備や岩和田漁港の局部改良事業を予定しております。

また、町民に直結する健康、福祉、教育の問題は、長寿社会の到来とともに、町民のニーズも増大しており、きめ細かく対応するため、「地域ぐるみ福祉ネットワーク事業」の推進をはじめとして、それぞれの関係者関係機関と十分に協議のうえ、水準を高めていく考えです。

以上、昭和六十三年新春を迎え、所感の一端を申しのべましたが、「町政は町民のためにある」という基本をふまえ、住民福祉のため、全力をあげて力強く進む所存であります。

本年も一層のご支援、ご協力を賜りますことを心からお願い申し上げます。皆さまのますますのご発展とご健勝を祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。



# わが町の10大ニュース

昭和62年

さまざまな思いを残して暮を閉じた昭和六十二年。わたしたちに最も身近な選挙である町長、町議会議員選挙をはじめ、三十年ぶりに復活した花火大会、二月の千葉県東方沖地震など、

いろいろな出来事、話題がありました。

町では、昭和六十二年の締めくくりとして「昭和六十二年わが町の十大ニュース」をまとめてみました。

このほかにも、まだまだ印象に残る出来事があると思います。迎えた六十三年が、より明るい、活気に満ちた一年となることを念願します。

られております。

また、本年は夷隅地区開発事業B地区の第一期議が開始されるなど、将来へ向かって大きく飛躍する年になると確信いたしております。

議会におきましても、町民の心を心として最大限の努力を傾注して、町執行部と緊密な連携を保ちながら、一歩一歩確実に、その職責を果していく所存であります。

町民の皆様には、一層のご理解、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。終りに皆様のご健勝とご多幸をお祈りして、年頭のごあいさつといたします。

## 新年のごあいさつ

## 将来に向け

## 大きく飛躍する年に

昭和六十三年の年の始めにありたり議會を代表して、謹んで新

年のごあいさつを申し上げます。

顧りみますれば、昨年は統一地方選挙の年であり、わが町においても町長並びに町議会の選挙が行われ、行政、議会ともに新しい体制で住民福祉の向上に取り進むことになったわけですが、

町においては、滝口新町長のもと、町民の声を反映した行政のさらに「マリン・リゾート御宿のまちづくり」が積極的に進め



議長 野正 治



まちづくり町民大学

## 昭和62年 町の10大ニュース

- ① 町長選挙が行われ、滝口町政誕生（四月二十六日）
- ② 町議会議員選挙に二十二人が立候補（九月二十日）
- ③ きれいな町づくりを推進するため、環境衛生課を新設し環境機動隊など始動（七月一日）
- ④ 防災行政無線「防災おんじゅく」が開局（四月一日）
- ⑤ 三十年ぶりに御宿町花火大会を開催（八月六日）
- ⑥ 住民参加の行政を進めるため「二日秘書」、「まちづくり町民大学」などの広聴事業がスタート
- ⑦ 堺川河口の生活排水処理施設を着工（十月二十一日）
- ⑧ 観光推進にみんなの声を――



観光おんじゅくアクティブ100総会

- 「観光おんじゅくアクティブ（行動する会）一〇〇」が結成される。（十一月十七日）
- ⑨ 「マリン・フェスタ御宿（海開き）」を開催（五月二十四日）
- ⑩ 郷愁の画家「谷内六郎展」を開催（十月十六日十八日）
- 新しくなった町営バス
- 「地域ぐるみ福祉」ネットワーク事業の御宿町基本福祉圏が設定される
- 町の指定金融機関に千葉銀行を指定
- 浦仲地先に海岸道路の新設を決定
- 布施・高山田地区の水道計画準備調査に着手
- 千葉県東方沖地震（震度5）により家屋を中心に被害（十二月十七日）

# 大地震の怖さ知る

## 建物などに被害

十二月十七日に発生した「千葉県東方沖地震」は、千葉県内に大正十二年の関東大震災以来の大きな被害を与えました。御宿町でも、屋根瓦の破損やブロックの倒壊など二百件近い被害がでました。しかし、心配された津波は、注意報だけで解除となり、人命への影響がなかったことは不幸中の幸いでした。天災は忘れたころに、やってくる——今回の地震を教訓に、日頃から防災に関する意識をわたしたち一人ひとりが高めていく必要があります。



▲ 地震の激しさを物語る

# ドキュメント 12・17 千葉県東方沖地震

12月17日午前11時8分

千葉県東方沖で地震発生

(震度5、マグニチュード6.6)

同 午前11時15分

役場消防隊、津波状況調査及び被害調査に出動

同 午前11時18分

港湾、海岸付近の人に津波注意を呼びかける。

同 午前11時21分

町防災行政無線にて「津波注意報」を住民に伝達

同 午前11時22分

※ NHKラジオで確認

同 午前11時22分

港湾、海岸付近の人に津波注意報の伝達と避難を呼びかける

同 午前11時24分

県防災行政無線「津波注意報」伝達(銚子气象台

午前11時14分発表) ※停

電力供給始まる

同 午後0時5分

町防災行政無線にて津波注意報解除を住民に伝達

同 午後0時3分

意報解除を伝達

同 午後0時

県防災行政無線 津波注意報解除を伝達

### 千葉県東方沖地震被害状況調

62.12.24. AM11:00

	屋根瓦破損 ズレ	壁・風呂 タイル	ブロック倒	その他	計
須賀	18	1			19
浜		1			1
高山田	11			3	14
久保	25			3	28
新町	12		10	11	33
六軒町	5	3		2	10
岩和田	29	1	1		31
実谷	3	1			4
上布施	37	1		1	39
公共施設	0		2	11	13
計	140	8	13	31	192

○崖くずれ 1か所(高山田)  
○崖ヒビわれ 5か所

電のため受信できず

同 午後0時10分

同 午前11時26分

2回目の津波注意報を住民に伝達

同 午前11時28分

県防災無線用発電機始動

同 午前11時31分

消防団各分団詰所に集合

同 午前11時39分

消防団、各地区情報収集活動開始

同 午後0時

県防災行政無線 津波注意報解除を伝達

同 午後0時3分

町防災行政無線にて津波注意報解除を住民に伝達

同 午後0時

県防災行政無線 津波注意報解除を伝達

同 午後0時

意報解除を伝達

同 午後0時3分

町防災行政無線にて津波注意報解除を住民に伝達

同 午後0時5分

電力供給始まる

同 午後0時

# ゴミのない町こそ

## 住みよい町づくりの基本

### 【環境衛生課より】

「ゴミのない町 御宿」をメインテーマに、課員一同、町づくりに専念していますが、清掃管理体制が充実するに従い、ゴミの散乱が目についてきました。

しかし、これはゴミに関して目が行き届いてきたからだとも思えます。

御宿町は他市町にも、あまり例のない町民清掃実施の町で、町をきれいにしようという気持が人一倍強い町であると考えて



みんなの力できれいな町に

います。

現在、町民清掃は月一回実施

していますが、町をきれいにする気持は、毎日持ち続けていることと思います。

「自分たちの町は自分たちの手できれいにしよう。」

この考え方がそ自治体発展の基盤になるものであると思われま

す。  
御宿町は通年観光をうたって、十数年の月日が経過しています。が、いまだかつて夏期観光の域を脱しきれないでいると言っても過言ではないと思います。

この現状は、全く街中にゴミが散在している事実と、その因を一つにしていると思えてなりません。街中からゴミが消え、ゴミのない町御宿、が実現したとき、四季観光への道が開けてくると確信します。

町をきれいにすることは、住みよい町づくりの基本であり、全ての産業が発展していくための必須条件であると考えます。

「街中のゴミをみんなが、すすんで拾える、そして散らかさない町づくり。」極論かも知れませんがこれが私たちの祖先、また、子孫に、胸をはって誇れる町づくりではないかと自負します。日々「町をきれいにしよう」という気運が高まっているように思われます。

いま一步、町民の皆様のご協力を願う次第です。

### 【今年の課題】

#### 「コミュニティ運動をどれだけ展開できるか」

今年、緑いっぱい、花いっぱい、ゴミのない町御宿の環境づくりに向けてコミュニティ運動をどれだけ展開できるか。これは行政にとっても、町全体にとっても一つの大きな課題です。

コミュニティ運動とは何か、簡潔に言えば、全員参加の町づくりです。それは、各団体、各個人が町を主体的にとらえ、新しい町づくりに向かって積極的に参加し、実践行動することです。そこに始めて地に足のついた真の活性化が生まれてくるものと信じます。新年を迎え、心を新たにし、魅力ある町づくりに向かって進もうではありませんか。

### 提

### 言

## アメニティ・タウン

### のすすめ

最近各地で、むらおこし・まちづくりの運動が行われていきます。わが町でも「まちづくり町民大学」が始まりました。

そして、時代と共に、そのまちづくりの考え方も変わってきています。近頃は、「アメニティ環境の快適さ」を考えたま

ちづくりが多くなってきました。つまり、まちづくりの基本は、そこに暮らす人々の生活環境を高め、その地域の不快さをなくすことだという考え方です。

そのような考えのもとに、各地で美しく住みよいまちづくりへの関心が高まっています。それは、私たちが今、物質的な豊かさだけでなく、精神的なものを含めた生活の豊かさ、快適さを求め始めているからです。

そして、静けさ、身近な水辺、緑などの自然、美しい街並み、歴史的なたたずまい、文化の香りなどが、バランスよく備わ

た快適な環境を求めているからです。そして、その様な環境のもとでのうるおいや、やすらぎを求めるようになってきているからです。

つまり、快適環境づくりが全てのまちづくりの基本になっているのです。そして、このような「アメニティ・タウン」のまちづくりには、住民のだれもが自由に参加できるのです。

その一つが、家庭雑排水の問題です。川のごれの原因の多くは、家庭雑排水にあります。ちょっとした心くばり、気づかいが、川の浄化をもたらし、美しいこの網代の海を守り、御宿の海の幸を豊かなものにしてくれます。

家庭の台所から、このまちづくりに参加できます。

そして、わが町が、これからめざそうとしている「マリン・リゾート」のまちづくりも、このような快適環境(アメニティ)の高いまちづくりの中ではじめて、花開くものと思えます。

ご家庭の主婦のみなさん、まず、台所から、このような「まちづくり」に参加してみませんか。(浜区 大谷信之)

【原稿募集】美しい川、海を守るため、みなさんからのご意見を郵送ください。(環境衛生課)

# 確定申告の時期が近づきました

## 準備はお早めに

所得税 2月16日～3月15日

贈与税 2月1日～3月15日

所得税と贈与税の申告と納税の時期が近づいてきました。所得税の確定申告と納税は

2月16日(火)から3月15日(火)まで  
贈与税の申告と納税は

2月1日(月)から3月15日(火)までです。

例年、3月10日を過ぎますと税務署の窓口は大変混雑し、みなさんにご迷惑をお掛けすることがあります。確定申告は、お早めに準備し、一日も早く提出するように協力をお願いします。

### 申告・納税にあたって ご注意ください

#### (1)、事業(農業・漁業も含む)収入、不動産収入のある方へ

昭和六十二年中の所得の合計額が、基礎控除その他の所得控除の合計額を超える方は、確定申告が必要です。

なお、次の事項にご注意ください。

○白色申告の方も確定申告書に必ず「収支内訳書」の添付が必要です。

○確定申告の必要のない方でも総収入金額の合計額が三千万円を超える方は、「総収入金額報告書」を提出しなければなりません。

#### (2)、サラリーマンの方へ

○給与の年収が一千万円を超える方や、給与以外の所得が二十万円を超える方などは確定申告をしなければなりません。

#### ○ローンで住宅を取得した方、多額の医療費を支払った方、及び年の途中で退職した方などは確定申告により所得税が還付される場合があります。

(3)、主婦の方へ  
○パートタイムの収入に対する課税は、一般的な場合表①のようになります。

○配偶者特別控除  
配偶者特別控除は、従来の配偶者控除とは別枠で最高十一万二千五百円の控除が受けられます。この控除は、夫の合計所得金額が八百万円(給与年収であれば一千万円)以下に限られます。

配偶者特別控除額の計算は、表②のようになります。

(4)、自分が住んでいる家と土地を譲渡された方へ

表① パートタイムの収入に対する課税

パートの収入	夫の所得から配偶者控除が	自分自身に	
		所得税が	住民税が
88万円以下	受けられる	かからない	かからない
88万円超 90万円以下	受けられる	かからない	かかる
90万円超	受けられない	かかる	かかる

表② 配偶者特別控除額の計算

控除対象配偶者の場合 (パート収入90万円以下)	$112,500 - ((\text{パート収入} - 57\text{万円}) \times \frac{11.25}{33})$
控除対象配偶者でない場合 (パート収入1,019,999円以下)	$112,500 - ((\text{パート収入} - 57\text{万円}) - 33\text{万円})$

(注) [ ] 内の計算で1万円未満の端数は切り捨て

自分が住んでいる家屋と敷地を譲渡された場合には、三千万円の特別控除、または居住用財産の買換えの特例を受けられますが、この特例を受けするには確定申告が必要です。

また、これらの適用を受けた場合には、住宅取得特別控除の適用を受けることができます。

(5)、還付申告をされる方へ  
税金の還付を受けるための申告書は、二月十六日前でも受け付けています。還付金は、なるべく銀行、信用金庫、及び農協などの預金口座への振込みをこ

利用ください。

還付申告用の申告用紙は、税務署または町税務課に用意してあります。

(6)、確定申告は送付された申告用紙で  
税務署から申告用紙の送付を受けた方は、必ずその用紙で申告してください。納税は、同封の納付書により、ご自分で納税額を記入して最寄りの金融機関で納付してください。

なお、申告書は郵送でも受け付けています。

# 確定申告の説明会と 相談日のお知らせ

確定申告の説明会及び申告相談を次の日程で開催します。申告書の書き方がわかりにならない方、また、申告について相談を受けられる方は、ぜひご利用ください。

【所得税・事業税・住民税の三税共同説明会】 各税について

- 2月4日(木) 勝浦市民会館
- 2月5日(金) 大原町役場
- 2月9日(火) 大多喜中央公民館

て申告書の書き方などの一般的な説明を行います。

【開催日・場所】

- 2月3日(水) 茂原市総合市民センター

【時間】 午後1時～3時30分  
【所得税の出張申告相談日】  
所得税の確定申告について、税務署職員が個別にご相談に応じます。

【開催日・場所】

- 2月23日(火) 勝浦市民会館
- 2月24日(水) "
- 2月25日(木) 大多喜中央公民館
- 2月26日(金) 大原町役場

【時間】 午前9時30分～午後4時

【税理士の無料申告相談日】  
確定申告について税の専門家(税理士)が個別のご相談に応じます。

【開催日・場所】

- 2月23日(火) 勝浦市民会館
- 2月24日(水) "
- 2月25日(木) 大多喜中央公民館
- 2月26日(金) 大原町役場
- 3月2日(水) 茂原市総合市民センター
- 3月3日(木) "
- 3月4日(金) "



## 自分の目で見、体験した わが町の行政

七本 吉野 孝子

わが家では、日頃から町で実施している公共事業に積極的に参加し、利用させていただいています。

義父は「健康相談」を毎月利用。義母は公民館の「手芸教室」。私は「華道教室」。小学生の子どもも、保育園の頃からスクールバスに乗せていただいたり——その他、いろいろお世話になっています。

今回、「一日秘書」制度のことを知り、日頃恩恵をうけているわが町の町政を自分の目で見、体験し、少しでも理解するよい

機会ではないかと応募しました。

私は勤務日数七日間。初日に町の施設見学があり、各担当課の方に案内され、ふだん訪れることがない町の施設が、どのように運営、管理されているかを見ることができました。

特に強く印象に残ったのは清掃センターです。

昭和五十九年に建設され、近代設備を備えた白亜の建物でありましたが、作業場に一歩足を踏み入ると、臭いを除去する薬品を使用しているというが、

鼻をおおいたくなる悪臭の中で一日中作業している方たちの苦労がわかりました。

そして、生ゴミの中への燃えないゴミ(ビンや缶)の混入。そのために起こる炉の故障。また、特に注意すべきこととして、スプレー式の缶を捨てる時は、必ず穴をあけて、中の圧縮された空気を充分出してから捨てること。爆発の危険があるためという。

ゴミといえども、扱い方を誤ると危険をとまなう作業です。住民一人一人がゴミの出し方ルールを守るようにしたら、処理作業がもっと合理的になり、維持管理費も安くなるのでは。そして、ゴミのない、きれいなマリン・リゾートのまちになると思います。

役場内では、いくつかの課が

あり、それぞれの課の中にたくさん業務がある事におどろきました。町長さんもスケジュールいっぱい毎日、昼夜を問わず東奔西走。大変なお仕事だと思いました。

ひとつ思うことは、庁舎が古いこと。これから寒さに向かって、役場を訪れる人、中で働く職員の方たちが寒そうに感じました。早く新庁舎の実現を望みます。

わずか七日間の勤務でありましたが、「一日秘書」制度は私の貴重な体験でした。おかげでより一層、わが町の町政を理解することができました。「一日秘書」制度をもっと多くの女性が知り、体験できたら素晴らしいと思います。



確定申告でお分りに  
ならないときは  
○茂原税務署 ☎0475-22166  
○役場税務課 ☎2511

【時間】 午前10時～午後4時  
**所得税の納税は  
振替納税で**  
振替納税をご利用されますと納税の都度、わざわざ税務署や金融機関までお出掛けになる手間がはぶけ、ついうっかり納税を忘れる心配もありません。この機会にぜひご利用ください。確定申告分からご利用される場合は、三月十五日までに「振替依頼書」を税務署または金融機関にご提出ください。

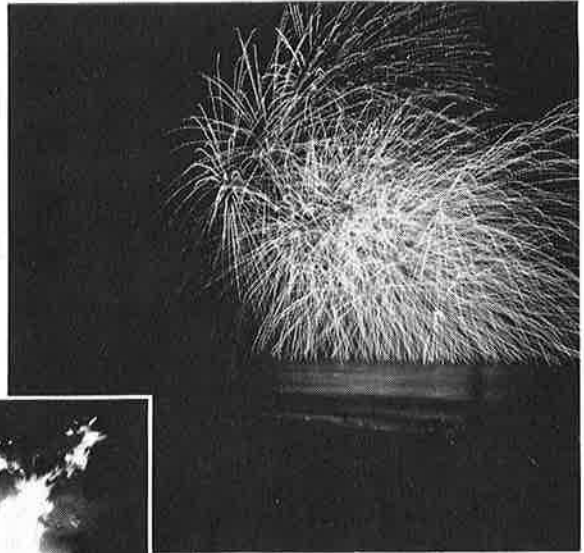
# 渚の火祭り

いま御宿の黎明

昭和六十三年一月一日、午前零時。荘厳な音響とともに、觀光御宿の大躍進を期した「渚の火祭り」が御宿海岸で開催されました。

打ち上げ花火や水中スターマインが、新しい年の幕開けを告げ、春日神社で採火された御神火が新成人たちの手で海岸へ運ばれ、九基の大焚松に点火されると、集まったたくさんの人たちは、夜空をこがす希望の炎に見入っていました。

豊漁、豊作、家内安全、海の安全を祈願した後、月の沙漠公園に会場を移し、餅つき大会で新年を祝いました。



▲網代湾を彩る  
水中スターマイン



▲夜空をこがす  
希望の炎

▲火鑽祭は春日神社でとりおこなわれ、新成人たちにより御神火は海岸へ



好評だった  
月の沙漠のもちつき大会





▲大焚松  
に見入るたくさん  
の人たち



▲メキシコからのお客さまも参加して（鏡割り）



▲元旦歩こう会も例年になく人出でした

## 観光御宿の大躍進を期して

【開催主旨】月の沙漠建立二十周年、ロベス大統領招へい十周年を記念して、国際親善の強化と、観光御宿の大躍進を期して開催。

マリン・リゾート御宿が四季型観光地としての地歩を固める

ためにも、恵まれた自然をいかしたイベントをとおして、地域住民の一体感と地場産業の振興をはかりながら、町活性化の一助になることを期待するものです。

# みんなの ひろば



みなさんからの  
投稿や話題など  
でつくるページ  
です。

## 関元義さんの小鳥籠が

## 県の伝統工芸品に指定

関元義さん(新町七三〇)の作る「小鳥籠」が、千葉県伝統的工芸品に指定され、このほど沼田千葉県知事から指定書が授与されました。関さんの小鳥籠は、原材料の



▲沼田県知事から指定書を受ける関さん

選別から仕上げまで、五十工程以上の作業をすべて手作業で行っており、鳥の性質や素材に合わせ、さまざまな工夫が施されています。

また、約百五十本のひごから組み立てられた小鳥籠は、一本一本丹念に磨かれ、その姿形の端麗さは、伝統工芸として高く

評価されています。

なお、千葉県伝統的工芸品の指定は、伝統的な技術、技法を県民に知らせるとともに、地域経済の発展に資することを目的として昭和五十九年度から始まり、今年度は十一名が指定を受けました。



## 好評です須賀老人クラブの お正月しめ飾り

須賀老人クラブでは、毎年十一月下旬になると、会員が区民館に集まり、お正月用のしめ飾りを作ります。

時代とともに家庭で作ることの少なくなっただけ飾りづくりを老人クラブの年間行事の一つ

として取り入れ、会員相互の親睦を深めようと数年前から始められました。

最初は会員の自宅用で作っていましたが、噂を聞いた近所や知人からの依頼も増え、今年は九百以上のお飾りを作りました。

## 御宿歌壇

### 短歌教室

君塚 正子  
山茶花のひそまりて咲く陽だまりに風のなき刻花びらこぼす  
斎藤 月子  
日に三度月の沙漠のメロディの調べ妙なる故郷に住む  
萩原 晴子  
朝市に紅色の諸掘りきては商える人今年は見えず  
幸保ひさ子  
娘のさし薄きピンクのカーネーション目ざめてみれば心和むも  
小林 寿枝  
書初めに追はれし短歌後廻し期日せまりて師走は寒し  
平島 富美  
軒下に山茶花の紅ふき溜り季移りたる朝冷え覚ゆ  
滝口 君子  
受験する孫の綿入れ作らむとナフタリン匂ふ我が羽織とく  
小池 のぶ  
しっとり額に滲む汗ぬぐい今日も歩めり一万歩目ざし  
半沢 克己  
来てみれば刻すぎ菊の畑寂し切り束ねみれど黄も白もなく  
栗原 清  
水上の出湯の里に独りゐる古里偲ぶ旅の夕に

# 置きざりのかさ

御宿小学校四年

鶴岡 敬一

「あれっ。だれもない公しゅう電話にかさがおいてあるぞ。」朝からふっていた雨のあがった放か後、ぼくは、公みん館の前で一本のむらさき色のかさをみつめました。

「だれかがとどけてあげなければ、そのかさは、ごみあつかいされて、ポロポロになって、ごみすてばにすてられてしまっ



## 「小さな親切」運動作文コンクール

入選作品

だろうな。」

ぼくは、そのかさを、とどけることにしました。

その日はもう、うすぐらくなっていたので、次の日に学校にもっていくことにして家に帰りました。

家に帰ってから、どろでよこれていたのか、かさをあらってかわかしておきました。

二日後、かさを落とし物の先生にとどけると先生は「とてもえらいね。このかさのもち主は岩和田小の子かもしれないからさいておくね。」といってニコニコしながら、かさを受けてくれました。

それから何日かたって、朝の

会がおわると先生がえんぴつを持って教室に入ってきました。

ぼくは「あのえんぴつは、いったい何だろうな。」とっていると、先生がお話を始めました。

「先生は今日、とてもうれしいことがありました。このクラスのある人が、公みん館の電話ボックスに落ちていたかさをひろって学校にとどけたそうです。ほんの小さな親切ですが、めんどろだなと、ついついむしして

しまいがちな事にたいして、おとした人のきもちを考えてとどけてあげたことは、すばらしいと思います。その人は敬一君です。」

教室中に「おー。」というおどろきの声があがり、つづいて大きな手が起こりました。

ぼくは何だかはずかしくなつて、真っ赤になつてしまいました。でも失ばいして、はじをかいたのはちがって、きもちのいいはずかしさでした。

先生は「敬一君は、きつと落とし主の気持を考えたからとどけてあげる気になったのでしよう。そんな敬一君の気持が先生はうれしですよ。」といいました。

その後、落とし主の人からえ



## おんじゆく 俳壇

俳句教室

佐藤 笑人

電柱の影も吹かる冬田かな

石井 たま

置きこたつ老のたのしき句作かな

今井 アキ

訪ふよりも訪はれ疲れし年の暮

んぴつをもらいましたが、ぼくにとつてはみんなのはく手が何よりのごほうびでした。

夏休み、二十四時間テレビをみました。それは、日本中の人たちが一円玉などをほ金して、集まったお金でめぐまれないお年よりなどを助けてあげる番組でした。

一円、二円では何もすることほできません。でも、そんな小ぜにも、たくさん集まれば大きなことができます。

ぼくはその時、親切な心も同じだと思いました。ぼくのしたことは、ほんの小さなことですが、一人ひとりの小さなやさしい心が集まれば、大きなしんせつにふくらんでいくと思います。(「小さな親切」運動本部賞受賞)

嵯峨 通恵

今日からは裸木となり庭に立つ

市原 さき

上棟の氷雨が焚火燻らせて

猪鼻 とき

葉ばたんを植えて狭庭を飾りけり

斉藤 月子

朝寒やカラスけちらすゴミ置場

伊藤 十九二

街騒や道一筋に歳の市

山口 つる

残したき菊の根元をくぐりけり

岡田 たづ  
猫抱けば焚火の匂ひかすかにす  
吉田 子陽  
ビルの丈映して冬の川明り  
渡辺 なつ  
年の瀬や玻璃を震わす救急車  
河崎 康代  
綿虫や一と日空しく過ぎにけり  
土井 久恵  
物の影大きくのびて日短か  
岩瀬 京子  
芹洗う波紋ひろがりゆく川面  
石田ゆき緒  
大地震になほも驚く年の暮

# 身障福祉に何を望む

## 身障福祉会アンケートから



身障者スポーツ大会から

御宿町身障者福祉会では、よりよい活動を図るために、アンケート調査を実施しました。調査は、町内在住の身障者全員(二百一名)を対象に行い、回収率は六二%。身障者の日頃の悩みや行政への要望など、さまざまな意見が寄せられました。

### 第一回身障者福祉会アンケート調査結果

▽対象者 二百一人  
▽回答者 百二十四人

▽回収率	六一・六九%
Q1 あなたの身障区分は	○ 肢体不自由 64人
	○ 聴覚 20人
	○ 視覚 19人
	○ 内臓疾患 12人
	○ 言語 9人
Q2 あなたの障害等級は	○ 1級 36人
	○ 2級 26人
	○ 3級 26人
	○ 4級 13人
	○ 5級 7人
	○ 6級 11人

- Q3 あなたは身体障害者相談日を知っていますか  
○ 知っている 38人  
○ 知らない 79人  
【身障者相談日】毎月第3木曜日、塩田病院
- Q4 あなたは心配ごと相談日を知っていますか  
○ 知っている 50人  
○ 知らない 61人  
【心配ごと相談】毎月2日、12日、22日、町社会福祉センター
- Q5 あなたは現在、ねたきりの状態にありますか  
○ ねたきりである 12人  
○ ねたきりではない105人
- Q6 障害(福祉)年金を受給していますか  
○ 受給している 50人  
○ 受給していない 69人
- Q7 障害者手帳等を受給していますか  
○ 受給している 39人  
○ 受給していない 58人
- Q 身障福祉会で実施してほしい事業は(上位5位まで)  
① 広報(会報)の発行 31人  
② 健常者への理解を得るための話し合い 24人  
③ 日帰り研修旅行 19人  
④ 学習活動 17人  
⑤ 実益を兼ねた実技講習12人
- Q 日頃の暮らしで困っている問題は(カッコ内は記入内容)  
① 医療問題 19人  
(総合病院の確保)  
② 社会的問題 15人  
(重度障害者施設の設置。結婚問題。安易な同情)  
③ 経済問題 10人  
(就業場所がない。身障者世帯からの諸費用負担)  
④ 家族との問題 5人  
(介護人の問題)  
⑤ その他 6人
- Q 町(行政)にお願いしたいことは  
① 県の広報紙(身障ちば)の配布② 総合病院の誘致③ 就業できる施設の誘致④ 仕事のあっせん⑤ 車椅子でも利用できる町民バス購入⑥ 車椅子の貸出し⑦ 身障者用駐車場の設置⑧ タクシーの割引制度⑨ 視覚障害者の雇用促進⑩ 点訳・朗読サービス⑪ 公共施設に身障者トイレ設置⑫ 車椅子で気軽に利用できる施設⑬ 重度障害者にも家庭奉仕員の派遣⑭ 道路の段差をなくすか、スロープ型に改善⑮ 民間協力によるボランティアアシストの確保⑯ 福祉会運営に相応なる補助金

### 県老人大学の学生募集

県では、昭和六十三年度老人大学の学生を次のとおり募集します。

▽応募資格 県内に居住する六十歳以上の方

▽入学金および授業料 無料

ただし、実習の材料費、通信課程のテキスト送料などは自己負担

▽募集期間 二月一日(月)から二月二十二日(月)まで

▽入学案内書および願書の交付 県老人大学校事務局、県老人福祉課、支庁社会福祉課、役場住民課で交付します。

▽願書の提出先 県老人大学校事務局(〒二八〇 千葉市仁戸名町六六―二 ☎0472-6614705)

### 千葉県伝統的工芸品展の開催

県では、地域の風土や生活の中で育まれた、受け継がれてきた県内の優れた伝統的工芸品を広く紹介するため、第四回伝統的工芸品展を開きます。

○会期 一月二十九日から二月二日まで

○会場 千葉そごう本館八階

○内容 県指定伝統的工芸品の展示、実演および即売

# 身障者授産施設 「ベテスタホーム」を訪れて

去る十一月二十日、町身障者福祉会で初めての日帰り研修会を実施しました。無理せずにと近くの授産施設「ベテスタホーム」を訪れました。

ここは私にとって、思い出深い場所です。今から十六年前、障害者の仲間入りをして、落ち込みも最高だった頃、知人の高垣氏（当時勝浦在住）に半ば強引につれられて来たのが、このベテスタでした。

「君、彼らを良く見たまえ。あんたより、もっと大変なんだから。」

マヒで緊張し、固くまがった指で必死に刺す、スエーデン刺しゅうの訓練に私は息を詰めた。それから三年後、まがりなりに社会復帰した折、リボンフラワーの技術をもって、ボランティアの申し出をしながら訪れている——あれからだいぶ変わったろうか。想いをめぐらせながら三回目の訪問になった。

昭和二十八年、たった七名の女性授産者からスタートしたベテスタホーム（名称は聖書からエルサレムにある地名をとる）も、現在は二百名まで収容でき

## 寄稿

## 寄稿

## 健康万歳

# ガンの宣告を受けた私

みなさんは町で行っている胃の集団検診のことをご存じだと思います。私もその検診を受けた一人です。

私は、昭和六十年の時には別に異常はなかったのですが、六十二年の検診で「ガン」を発見されました。

一時は失望しましたが、悪化した場合、家族や親類、仲間

の人たちにも迷惑をかけることになるので、意を決して医師の指示に従い、手術を受けました。

手術後は、十三キロも体重が減り、心配になりましたが、病院には、私同様に早期発見で全快した数多くの人たちがおり、その人たちの退院を見送りながら、自分も一日も早く元気になることを誓いました。

（上布施 佐藤テルエ）

私の進んできた道は、四月・検診。六月・精密検査（四回）。七月九日・入院、十六日・手術。八月十六日・食事療養のため転院。九月二十六日・退院。十月十三日から職場復帰。

最近では、食も進むようになり、体重も増えてきて、毎日が楽しみになってきました。それも町の検診と、みなさま方のご支援のおかげだと思います。

みなさんも検診を進んで受け、健康という幸せをつかむことを希望します。

（上布施 佐藤テルエ）

るまでの規模に発展した。

軽度、重度、重度療護と分けられ、職業トレーニング、生活トレーニングに励む日常である。ハンデのランクにより作業も区分されているが、職種は編物、手芸、洋裁、らでん、機械部品、陶芸など。

訓練室を一室ずつ案内され、説明を受けた。仕上がった作品は手作りの暖かさのある見事なものであった。不自由な肢体で夢中で取り組んでいる姿は素晴らしいと、十六年前の感動がよみがえる思いであった。

最後のらでんの室（貝とらうるしの工芸品）の作業と作品には、参加者一同、感激して見入っていた。

立派に拡大されたベテスタも他の福祉施設同様、運営上の困難も多いようだ。私設の組織であることや入居者の減少など。

授産施設は、あくまでも社会復帰へのステップにすぎない。施設で訓練した職種を生かして健常な人たちと一緒に生きていける。こんな世の中に一日も早くなればな、と思う。

ベテスタで訓練に励む人たちが、いつか社会の中で生き生きと働く日を祈りながら、ホームをあとにした。

（町身障福祉会 永島輝代）

## 中小企業者に 被害再建資金を融資 地 申込は1月30日まで

千葉県では、昨年十二月に発生した地震で被害を受けた中小企業者などに再建資金を融資、企業の応急的復旧を図ることにしました。

### 【融資条件】

- ① 資金使途：設備資金または運転資金
- ② 融資限度額：一中小企業者一千万円以内、一組合二千万円以内
- ③ 融資期間：設備資金七年以内、運転資金五年以内
- ④ 融資金利率：年四・〇%
- ⑤ 利子補給：年一・九%（五年間補給）
- ⑥ 償還方法：割賦償還（二年以内の据置期間も可）
- ⑦ 保証人及び担保：⑦ 信用保証協会の保証を付する。⑧ 連帯保証人は原則として一名以上。⑨ 必要に応じて物的担保。

【融資の申込み】所定の被災証明申請書で住所地の市町村長の証明を受け、申込受付機関（商工会、中小企業団体中央会、信用保証協会、具金融課）に対して一月三十日まで申し込む。

# 呼び合える仲間づくりを

## 岩和田小域福祉圏 設定なる

### ―福祉ネットワーク事業―

高齢化社会に向っての福祉ネットワーク事業の御宿町基本福祉圏の設定にひきつづき、去る十一月二十七日、岩和田青年館にて残された三層の福祉圏の一つである岩和田小域福祉圏が誕生しました。

当日は、地区の福祉諸団体の代表十八名が集まり、県の基本計画に基づき、各位の温かいご理解とご協力で、町で最初の小域福祉圏の設定がまとまりました。

同福祉圏の会長には、区長の渡辺利雄氏、副会長には民生委員代表の天野正氏がそれぞれ選出されました。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆  
当面の考えとして、まず社協を中心とし、基本福祉圏と呼応し、共に連携をもって福祉増進につとめ、また、町を明るくする運動として早速、ひと声運動を呼びかけよう。それでは、みんなで朝のあいさつを。そして

ふれ合いを求めて、お互いに支え合える人間関係をつくっていきましょう。

年寄りも若い人も、子どもたちも、うるおいのある温かい社会づくりの土壌をもって、これからの二十一世紀の高齢化に向って、さらに福祉の意識を高めていこうと、熱心な意見が交わられました。

## 社会福祉協議会

### からの提言

一、地域社会に愛の手を  
私たちは地域社会の一員として生活しています。その地域社会をもっと明るく住みよいものにするために、どのような活動をしていったらよいでしょうか。それには、みんなのエネルギーを地域社会への奉仕という、

具体的な活動を展開し、愛の手をさしのべよう。

問題はいろいろあるが、まず勇気と実行である。

一、みんなで生きるために  
私たちはこの世に生まれた以上、みんなが明るい生活、楽しい生活をしたいものです。それには社会連帯感をもつての生活が必要でです。

経済的に豊かであっても、心が貧しくては、本当に生きるという幸福感になれません。

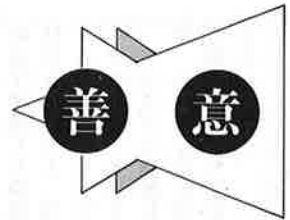
これらを考えると、社会福祉とは、重要な課題であり、そこに必要性が求められているのです。

(御宿町社会福祉協議会長 石田行雄)

## 夷隅郡環境衛生組合で

### 職員募集

- ▽募集人員 若干名
- ▽条件 年齢三十歳までの健康な方(学歴不問)
- ▽職種 収集作業職員
- ▽応募方法 自筆の履歴書に写真を添えて二月二十七日までに夷隅郡環境衛生組合(夷隅町万木五番地☎0470-8612155)へ持参または郵送して下さい。



次の方々から、町社会福祉協議会へ温かい善意が寄せられました。ありがとうございます。ございました。

▽七宝焼教室(宮口利晴代表)  
七宝焼の作品即売会を開き、その売上金十五万一千二百円を寄付。



▽御宿町ダンス愛好会(鷹中丈会長)  
ダンスパーティの収益金一万円を寄付。

▽須賀老人クラブ(神定美佐雄会長)  
正月用お飾りと一万円を寄付。

▽海原会(君塚良司会長)  
同会が開いたチャリティゴルフの収益金四万八千六百円を寄付。



▽大原・御宿ゴルフコース社員一同  
金一万二千八十七円を寄付。

## 一月一〇日は「二〇番」の日

▽事件、事故が発生したらまず「二〇番」――早ければ早いほど、犯人の検挙率も高くなります。

▽「二〇番」通話のポイント  
は、係員の質問に要領よく答えていただくことです。

▽いたずら「二〇番」は絶対にしない――本当に必要な「二〇番」がかりにくくなります。

郷土の誇り

孝女志保(塩)の碑

町指定文化財に

夷隅郡教育委員会から、町指定文化財として、孝女「志保(塩)」の碑が指定されました。これで町指定文化財は、二十三点になります。

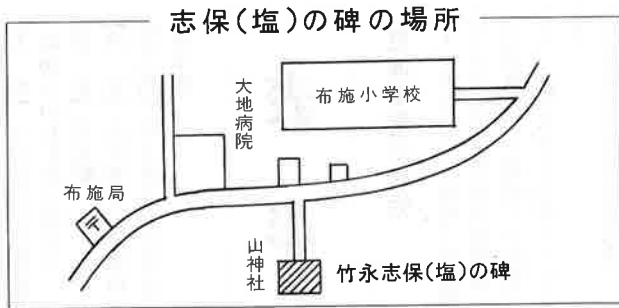
今回、指定になった「孝女志保(塩)」の碑と事績について、数回にわたってお知らせします。



▲ 上布施・山神社の境内にある孝女志保の碑

「志保」の碑は、上布施(新宿)八二七番地の山神社境内にある。布施村誌(布施村役場編)によると、碑は「志保」の家の境内にありと記されているが、その後、布施小学校境内にあった忠魂碑の後に移され、現在の場所に移されたのは、忠魂碑の移動に伴ったときと考えられる。

「志保」の碑は、志保の没後



五十五年を期して、その事績を後世に伝えようとして、上布施井上佐喜夫(三島)、榎本與六郎(新宿)の両氏が発起人となり、明治二十年に建立したもので、撰文及び書は、当時上布施三島、井上佐喜夫氏邸内にあった薫陶学会教員 村田峯次郎氏が、題額は千葉県書記官、岩佐為春氏がしたためたものである。

碑の高さは一五六センチ、横一〇七センチの石碑で次のような碑文が刻まれている。

(碑文の解説文は資料館にあり、希望者に配布しています。)

孝女碑

孝女竹永塩既亡之五十五年郷人胥謀將建碑其志在欲伝善行不朽并奨励後世為人子者以予会教其郷薫陶学会子弟之故来請碑文嗚呼頭人之美予洵所欲也故不辞而諾焉按状塩者上総国夷隅郡上布施村人竹永伝八女也塩蚤喪父事母至孝甫年二十一迎夫日長歳亦致人皆勸之再婚然辞日少時有聞貞女不見二夫固拒不許意独力養母起臥飲食衣服其他微細事日夜畢給常志祁寒暑雨惟命是從看護莫不至然家頗貧困為人行傭以供母母常好頼然不至里余之遠村無得焉而母不欲塩少離座側故塩日僅窺母眼間疾走求之又母嗜魚肉塩日至海浜得魚掃一日風雨殊甚母欲魚頻急百方苦心魚竟不可得仍籲天慟哭忽而屋後見一大魚左塩喜不知所措割烹以供母近隣驚異以為孝感所致此事伝四方文化四年地頭神

尾元亨嘉賞塩之善行賜以褒書及米錢若干郷人嗟歎以為崇塩感泣日人愛己母何受褒為孝順益篤文政元年母九十二病没時塩六十二塩事母孝養能至終始如一母亡之後清苦修業家道鄉里稱之以天保四年七月二十三日病歿享年七十有七葬於村中之山静樹清処有一女天使人嗣家日由蔵由蔵有一女迎夫日伝八今現修家業銘曰荒杵嶺秀鳴鹿海深此間淑女孝節染貧裸跣行傭日夜養親親老夫死独力苦辛巍然大孝或過古人識與不識一感性真郷人建石特表絶倫名垂後世德化四隣

明治二十年九月

長門 村田峯次郎撰并書  
千葉県書記官正六位勲六等  
岩佐為春題額

発企人 井上佐喜夫  
榎本與六郎

《電気安全メモ》

お子さまの

たこあげ遊びにご注意を

○たこあげ遊びは、電線のない広い場所です。  
○もし、電線に「たこ」がひっかかったときは、東京電力へご連絡ください。

東京電力(株)大原営業所 ☎04706(2)1121

# 保健



## 岩和田健康相談

〔日時〕1月16日(土)午前9時30分から午前11時30分まで  
 〔会場〕岩和田青年館  
 〔内容〕血圧測定、個別相談  
 〔持ち物〕四十歳以上の方は健康手帳持参

## 岩和田健康相談

〔日時〕2月6日(土)午前9時30分から午前11時30分まで  
 〔会場〕岩和田青年館  
 〔内容〕血圧測定、個別相談  
 〔持ち物〕四十歳以上の方は健康手帳持参

## 妊婦教室・E

〔日時〕①1月13日(水)②1月20日(水)午後1時30分から午後3時30分まで  
 ※環境衛生課窓口にて申込受付

## 乳児相談

〔日時〕2月9日(火)午後1時30分から午後3時まで  
 〔会場〕公民館

## 布施健康相談

〔日時〕2月4日(木)午前9時30分から午前11時30分まで

## 血圧相談

〔対象〕一歳未満の方  
 〔持ち物〕母子手帳



## おめでた

十一月届 男五 女三 計八  
 区名 出生児 保護者  
 浜 渡邊 愛美 俊明  
 久保 白田 祥悟 弘行  
 " 石田 拾美 裕一  
 " 伊藤 貴大 國夫  
 新町 岩瀬 惠美 正昭

## おくやみ

十一月届 男三 女二 計五  
 区名 死亡者 年齢  
 久保 川合 幸一 71  
 " 岩瀬 ゆい 69  
 新町 岩瀬 一雄 68  
 六軒町 鷹中 義男 69  
 上布施 井上 はな 82

〔日時〕2月12日(金)午前9時30分から午後3時まで

〔会場〕公民館  
 〔内容〕血圧測定、個別相談  
 〔持ち物〕四十歳以上の方は健康手帳

# 表彰

## 日赤事業に功勞

十二月五日、千葉県文化会館にて日本赤十字社名誉副総裁三笠宮寛仁親王妃殿下ご臨席のもと、次の方々が表彰をうけました。  
 ▼日本赤十字社社長感謝状 久保一九一六 村田 萃氏  
 ▼日本赤十字社業務功勞表彰 新町七三九 中島マサ子さん

## 国民健康保険事業でも

▼千葉県知事感謝状 国保運営委員 松本和之氏  
 ▼県国保団体連合理事長表彰 町職員 江沢輝明氏  
 ▼法務大臣表彰 町職員 君塚孝一氏  
 多年、戸籍事務職員としての功勞が認められたものです。



# お年玉



となっています。金額の多いことにも驚きますが、意外なのは、もらう側より、出す側の予測が上回っていることです。出す側にまだ余裕があるということなのでしょう。

いまではお年玉というと、子供にお金であげることが主になっていますが、室町時代あたりから武家や公家の間では、物を贈答する風習があったようです。年玉の語源は「年賜」だという説もあり、丸いもちのこととする見方もあります。

最近では、年始のあいさつの時に「年賀」と書いたタオルやせつけんなどを持参することもありますが、これもお年玉の一種です。今年はこの「お年賀」用に賀詞と名前が入ったテレホンカードも出回っています。さて、お年玉といえば楽しみなのが、お年玉付き年賀葉書の抽せん会。今年は一月十五日に愛媛県松山市で行われます。

○発行責任者 滝口栄蔵

○編集 集 総務課広報係  
 ○電話 04706812511